教育家庭新聞

第３月曜日発行

2019年（令和元年）
7月22日
月曜日
第２１５２号

文月・七夜月・愛逢月
大　暑（7/23）
土用の丑の日（7/27）
立　秋（8/8）

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309―53693
購読申込み　☎03（3864）8241　Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月　©教育家庭新聞社　1部 480円

紙面案内

栄養教諭・学校栄養士大会特集………２・３面
「食に関する指導の手引―第二次改訂版」では指導の全体計画の重要性を強調。文科省・清久食育調査官は「全教職員の食育への意識づくり」につながると語る。また大会開催地・岐阜の活発な学校栄養士会の活動を紹介する。

学校施設・学校安全特集………………４・５面
児童生徒や教員が多くの時間を過ごす学校の学習環境を、より安全で快適でありエネルギー効率の高いものにするため、文科省が手引きを作成。また熱中症対策や災害時の避難を助けるドア等も紹介する。

学校保健……………………………………６面
良質な睡眠が熱中症予防に効果があることが、各種統計データの分析から判明。都立青梅総合高校では養護教諭が主導して、生徒が熱中症を理解し自ら対処する方策を考える講演会を開催した。

教育旅行・体験学習…………………………７面
４か国比較調査で、海外留学への興味を感じる日本の高校生が減少。外国への関心も薄れている。「母国の方が暮らしやすい」「自信がないから」等の理由はほぼ各国に共通している。

学校図書館・読書……………………………８面
豊かな心と確かな学力を育成する学校図書館には「人がいる」こと。自治体や団体の実践的な取組を紹介する、「子どもの学び」フォーラムが開催された。

連　載

教職員のメンタルヘルス　第59回…１面
学校給食は食育の教材　第52回…３面
学校の感染症　第８回…６面

■Twitter
@kyoikukatei

■KKS Webはこちら→

子供の朝食欠食5.5%に微増

学校給食実施率は改善
農水省が「食育白書」公表

学校、家庭、地域それぞれの食育と健康づくりの現状をまとめた「平成30年度食育推進施策」（食育白書）が先ごろ、農林水産省から公表された。現在進行形の「第3次食育推進基本計画」で、2020年度までに「朝食を欠食する子供の割合」を「0%」とする目標は、現状（18年度）で5・5%。「若い世代」は目標「15%以下」に対して26・9%で達成に程遠かった。反面、中学校の給食実施率や食塩等の低減に取り組む食品企業登録数など、目標を早期達成した項目もあり、進捗の明暗が分かれた。

現在進行している「第3次食育推進基本計画」（＝第3次計画、2016年3月決定）は16年度から20年度までの5年間を対象。各方面での食育推進課題ごとの目標を、数値化により明確にしている。白書は18年度現時点の達成値をもとに、課題別の進捗を明らかにした。

朝ごはんは、小学生は欠食「ゼロ」が目標。現状は5・5%で程遠いうえ、16年度の4・5%より増えている。また中学生も同様で、16年度に6・6%だったのが現在は8・0%に増加した。

朝食の欠食率が最少だったのは、小学生は10年の3・6%、中学生は13年の6・2%。以後はわずかな増減があったがほぼ一貫して増加する傾向にある。その背景の一つとして、生活リズムの乱れが注目される。

文科省「全国学力・学習状況調査」で、毎日同じくらいの時刻に寝ていない子供の割合は近年で増加。小学生は16年度19・9%から18年度23・0%。中学生24・6%から25・7%に増加したことの関係がうかがえる。

20年度の目標値に対して現状での達成値との差が大きく、さらに計画作成時の値（15年度）より後退している項目は他に「朝食を欠食する若い世代の割合」＝26・9%（目標15%以下）。

若い世代の食習慣　目標遠く4割に

他に「学校給食における地場産物使用の割合」＝26・4%（同30%以上）、「学校給食における国産食材使用の割合」＝76・7%（同80%以上）、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合」＝39・7%（同55%以上）、「生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合」＝67・7%（75%以上）などだった。

一方で、すでに目標を達成したのは次の5項目。「地域等で共食したいと思う人が共食する割合」＝77・6%（目標70%以上）、「中学校における学校給食実施率」＝93・2%（同90%以上）、「食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数」＝103社（同100社以上）、「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合」＝66・3%（同60%以上）、「食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合」＝67・3%（同65%）だった。

教職員メンタルサポートネットワーク

教職員のメンタルヘルス

第59回

連載　解決への**手法**と周囲の**心得**

子供が心を開く関係づくりを

最近〝子供との関係づくりがうまくいかない〟ことが、大きなストレス要因になって休職に入る教員が増えています。

■関係づくりが悩ましい

自分と同じ境遇や体験（肉親との死別やいじめ体験等）をしている子供との出会いによって、必要以上にその子供に感情移入（入れ込んで）してしまった教員がいました。その様子を見ていた周りの子供たちから「いいよな〜、あの子だけ面倒見てもらえて」と〝総スカン〟を食ってしまい、ますます子供たちから孤立してしまった教員の例があります。

それとは対照的に、〝注意〟や〝叱責〟でしか子供と接触できない教員がいます。気がつけば、時間が過ぎるほど子供たちがその担任の言うことを聞かなくなり、無力感や孤立感を感じている教員など、関係づくりがうまくいかない代表例でしょうか。

教員に〝安心できない〟子供は決して心を開こうとしません。では、ここでいう安心感の中身とはどのようなものを言うのでしょうか⁉今回は、子供から取材した話をもとに、安心感が伝わる教員の接し方として以下の3点についてお話しすることにします。

①子供の話を聞く順番を間違わないで

「自分たちの話を最後まで聞いてくれる先生」に対しては、子供たちは安心感を持つようです。子供が話している途中で「だけどな」とか「しかしね」といった接続詞を使い、よく話を〝途中で遮る〟先生がいます。ところがその後の、先生が語った話の内容は、子供たちにほとんど残っていないことが多いようです。

大切なポイントは、どんなに理不尽なことを言う子供であっても、まず相手の話を最後まで聞くこと。教員側の思いは、聞き終わったその後から伝えるという「順番を間違わないこと」です。子供が自分の話を聞いてくれないと嘆く担任が時折います。それは自分自身が普段から子供の話をどれだけ聞いてあげているのか、その「裏返し」なのです。

②教師の期待に応えられない時の子供でも受け入れてあげて

二番目は「どんな時の自分でも、先生は受け止めてくれる」という安心感です。

例えば、漢字の小テストで100点を取って「よく頑張ったな」と褒めてもらえた子供が、次の小テストでは50点しか取れなかったとします。その子供に対して担任は「何でこんな点数しか取れなかったの？」と叱ったとします。

このような場合、「教員が期待している結果の100点を取った時の自分は受け入れてもらえるが、望まない結果の50点だった時の自分は受け入れてもらえないのだ」と受け取る子供もいるのです。

③子供がどんな自己決定をしても応援しよう

3つ目は「どんな自己決定をしても応援してくれる」教員です。ある男子生徒が「先生、僕、野球部に入ろうかサッカー部に入ろうか迷っているんだ、どちらにすればいいと思う？」と担任に相談を持ちかけたとします。あなたが担任だったら何と答えますか？

「最後は自分で決めることだと思うけれども、どちらに進むにしても先生は〝応援するからね〟」。このようにどんな自己決定をしても応援してくれるという〝安心感〟に支えられながら、子供は自己決定をしていけるようになるのです。

①大人（親や教師）から大切にされた子供が、②友人を大切にすることができるようになり、③自分を大切にしてくれた大人を信頼できるようになって、④やがて「自分はこれだけ大人から信頼されるだけの〝価値ある人間〟なんだな」と自分自身にプライドが持てるようになっていく（自信がつく）ようになっていくのです。

……………

筆者＝土井一博（どい・かずひろ）順天堂大学国際教養学部教職課程客員教授、教職員メンタルサポートネットワーク代表、埼玉県川口市教育委員会教職員メンタルヘルスチーフカウンセラー

北海道教育旅行視察会9/15・16

2020年にアイヌの歴史・文化等を復興するナショナルセンターとして「国立アイヌ民族博物館」が開館するなど、教育旅行の訪問先として注目度が一層高まる北海道・道央圏の魅力を、見て触れて確かめることができる教育旅行現地視察会が9月15・16日開催。関東の私立中・高校教職員を対象に参加希望者を募集しています。

内容はノーザンホースパーク→白老町・アイヌ文化の講話、民族共生象徴空間外観見学・解説→壮瞥町有珠山・洞爺湖有珠山ジオパークでの防災減災講話→ニセコ・発展のストーリー／体験など。

主催＝（公社）北海道観光振興機構道央地域分科会、協力＝教育家庭新聞社。

参加費用は2万円（但し、視察終了後にレポートを提出して頂いた場合、原稿料を支払います。レポートはA4サイズ1枚程度）。参加費用には、羽田空港から現地への航空賃（往復）、現地での移動交通費・食事・宿泊費・施設入場・体験費用、保険料が含まれます。

参加希望者は教育家庭新聞社HPから、入力フォームに従って必要事項をご記入のうえ応募してください。

募集定員は15人、締切は8月2日（金）。先着順で定員に達し次第締め切ります。

学習素材を間近に見て触れて

参加者募集

主催　北海道観光振興機構

詳細＝www.kknews.co.jp

大好きな公園を清掃

横浜市の保育園児

「公園のごみを拾ってきれいにしよう」――横浜市・青葉区の認可保育施設「太陽の子桜台保育園」と「太陽の子桜台第二保育園」の子供たち17人が6月14日、桜台第二公園で「キッズおそうじチャンレンジ」に取り組んだ。

普段から遊んでいる大好きな公園で、掃除の大切さや楽しさを体験し、地域にも貢献するこの取組。HITOWAホールディングスがともに展開する「太陽の子保育園」と、ハウスクリーニングチェーン「おそうじ本舗」が、横浜市青葉台商店街とのコラボレーションで実現した。

当日は「おそうじ本舗」のスタッフが掃除のコツを子供たちに伝え、地域の人々も加わり掃除がスタート。「こんなゴミがあったよ！」「これは燃えるゴミかな？」と話しながら元気に取り組んでいた。

日本の高校生　海外への興味が低下

青少年教育振興機構

海外留学に興味がある高校生は5割前後、7年前の前回よりさらに減少し、留学したくない理由で最も多かったものは「日本の方が暮らしやすいから」――（独）国立青少年教育振興機構は先ごろ、2018年に日米中韓4か国の高校生を対象に行った「留学に関する意識調査」結果を発表。日本の高校生は留学への興味だけでなく、「外国を旅行したい」といった外国への関心も4か国中で最も低い。

海外留学に「興味がある」「やや興味がある」と回答した割合を男女別にみると、日本が男子43・9%（11年49・7%）、女子は56・8%（65・9%）。男子は過半数に満たなかった。

また米国は男子57・6%（59・0%）、女子76・3%（69・6%）、中国は男子52・2%（63・0%）、女子63・1%（75・9%）、韓国は男子58・1%（60・2%）、女子74・3%（80・8%）だった。

米国女子が最も関心が高く、韓国女子がこれに続く。留学への興味は男性より女性の方が高く、また米国女子が前回より高まった以外は、4か国とも総体的に低下した。

【詳細は7面に続く】

防災用折りたたみヘルメット
NEW
Flatmet-kids
フラットメット キッズ
ミドリ安全
子どもたちの安全を守ります。
https://midori-anzen.com
ミドリ安全.comコールセンター　フリーコール 0120-310-355

列・島・視・界

学校の働き方改革に関する文科省指導方針を巡って、夏期長期休業中の学校や教員との接し方が、従来から様変わりしそうだ。学校閉庁日の導入や長期研修、プール指導、部活動の見直しが検討される一方、夏休み短縮も増えている▼先ごろ公表された「平成30年度文部科学白書」では地震等の災害や異常気象と文科省の対応を初めて特集している。不幸な出来事だったが、昨年6〜7月に相次いだブロック塀倒壊事故や野外学習の熱中症死亡事故。学校の安全対策の早急な推進を、これらの事故が後押ししたことは確か▼夏休み期間を短縮する動きは、新学習指導要領による授業時間の増加が理由。夏休み短縮の場合は1〜2週間の切り上げが多い。学校の普通教室のエアコン設置率の改善も、夏休み短縮化の背景にある。子供の学習環境の改善と教員の労働環境改善。両立する運営の最適化を求めたい。

キャリア教育　資料集を公表

国立教育政策研究所

国立教育政策研究所は先ごろ、文部科学省と同所のキャリア教育に関する調査・研究等をまとめた「『キャリア教育』資料集　研究・報告書・手引編」（平成30年度版）を公表。平成23年中央教育審議会答申から、それ以降に公表された最新資料に焦点を絞り，掲載資料の精選を図ったもの。

昨年6月閣議決定の「第3期教育振興基本計画」は、「各学校段階における産業界とも連携したキャリア教育・職業教育の推進」を明記している。

「教育家庭新聞」購読申し込み書

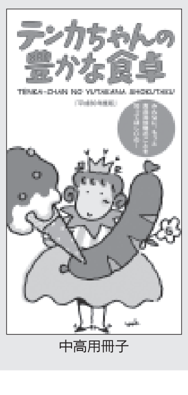
「教育家庭新聞」は毎月第３週に発行します。郵送でお届けします。電話・ＦＡＸ、またはＨＰからもお申し込みいただけます。

購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Webページにアクセスできるパスワードをお届けします。

1. 電話 03･3864･8241（弊社販売部）　2. FAX 03･3864･8245
3. ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/　（1部 480円）

お申し込み書（年間10回4800円） 5･12月号が休刊です

お名前		
ご職業		
ご住所	〔自宅・通勤先〕（どちらかに○を）　（〒　　－　　）	
連絡先	電話　（　　） FAX　（　　）	お支払方法 ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらかでお支払いください。



中高用冊子

一般消費者・大学生用冊子

私たちの食生活に欠かせない
食品添加物の役割をしっかりと認識しましょう。

小冊子を無償提供
日本食品添加物協会は、文部科学省の「総合的な学習の時間」の応援団に参加しています。応援活動の一環として、中学校や高校の家庭科の副読本としても使える小冊子「テンカちゃんの豊かな食卓」（写真左）や、一般消費者の皆様や大学で食品学などを学ぶ学生の方々向けに、食品添加物の全般についてわかりやすく説明した「もっと知ってほしい食品添加物のあれこれ」（写真右）を無償提供しています。
※各冊子の内容は毎年改定。詳細は当協会HPの学校応援団（トップページ「学校関係者の入り口」をクリック）をご覧ください。
※学校関係者向けに出前講座対応しております。（応相談）

●食べものを長持ちさせてムダにしない
●食べものの味をよくする
●科学的な試験により安全性を確認

一般社団法人 日本食品添加物協会
〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町4―9
小伝馬町新日本橋ビルディング6階
TEL 03―3667―8311　FAX 03―3667―2860
ホームページ https://www.jafaa.or.jp

Allenger!
2019/7/23
お子様のアレルゲンが5つのメニューに含まれています
メニュー名
特定7
推奨20
牛乳
○未登録 ○食べる
●自己除去 ○家庭より持参
乳
肉みそソース
○未登録 ○食べる
●自己除去 ○家庭より持参
小麦
ソフト麺
○未登録 ○食べる
●自己除去 ○家庭より持参
鶏肉
豚肉
小麦

保護者
こどものアレルギー情報
先生
クラウド共有
食品のアレルギー情報
献立情報
栄養士

こどもを給食アレルギー事故から守る
今日の給食にアレルゲンを含む食材があるとき、すべての関係者にアラートを送信します。
こどものアレルギー情報と今日の献立に含まれるアレルギー食材をクラウド共有して、アレルギー事故を防いでいきます。
保護者のスマホからも対応の登録が可能です。
給食アレルギー対応献立管理支援システム「アレンジャー！」
Allenger!
株式会社インフォファーム　公共ソリューション事業部
岐阜県岐阜市柳津町流通センター１丁目 8-4
TEL 058-279-1881 WEB www.infofarm.co.jp MAIL koukyou@infofarm.co.jp
WEB